

資料 20 仮設トイレ等必要量

注記：本資料は、「大規模災害時における救援物資に関する今後の備蓄方針について」
 (大阪府域救援物資対策協議会、平成 27 年 11 月) から抜粋したものであり、「簡易トイレ」とは、環境省の「災害廃棄物対策指針」の「仮設トイレ」等を含むものとして用いられている。

1. 簡易トイレ必要量の算出式

$$\text{避難所避難者数} \times 0.01$$

※避難所避難者 100 人に 1 基とする。

2. 簡易トイレ必要量の算出結果

大阪府域 ボックス型 14,862 基、組立式 8,810 基

※市町村はボックス型（便器型、マンホールトイレ等含む）、府は調達含め、組立式を確保する。

3. 必要量算出根拠となる避難所避難者数

名称	想定災害	想定避難所避難者数	南海トラフ巨大地震による想定避難所避難者数
大阪府	南海トラフ巨大地震	880,942	同左
大阪市	南海トラフ巨大地震	529,787	同左
堺市	上町断層帯地震 B	138,643	71,597
岸和田市	上町断層帯地震 B	28,540	22,034
豊中市	上町断層帯地震 A	53,470	5,917
池田市	上町断層帯地震 A	8,101	477
吹田市	上町断層帯地震 A	52,134	4,326
泉大津市	南海トラフ巨大地震	16,672	同左
高槻市	有馬高槻断層帯地震	60,409	6,140
貝塚市	上町断層帯地震 B	12,773	8,101
守口市	南海トラフ巨大地震	36,781	同左
枚方市	生駒断層帯地震	46,812	6,105
茨木市	有馬高槻断層帯地震	25,804	2,039
八尾市	生駒断層帯地震	58,679	37,645

泉佐野市	中央構造線断層帯地震	11,874	4,495
富田林市	生駒断層帯地震	7,020	1,427
寝屋川市	生駒断層帯地震	38,518	30,250
河内長野市	中央構造線断層帯地震	13,340	698
松原市	上町断層帯地震 B	17,700	1,137
大東市	生駒断層帯地震	26,123	4,365
和泉市	上町断層帯地震 B	22,530	1,731
箕面市	有馬高槻断層帯地震	20,000	786
柏原市	生駒断層帯地震	11,000	787
羽曳野市	生駒断層帯地震	26,478	1,281
門真市	生駒断層帯地震	25,198	12,421
摂津市	上町断層帯地震 A	11,000	1,276
高石市	南海トラフ巨大地震	23,087	同左
藤井寺市	生駒断層帯地震	16,296	474
東大阪市	生駒断層帯地震	97,444	24,375
泉南市	中央構造線断層帯地震	7,124	3,826
四條畷市	生駒断層帯地震	6,918	3,436
交野市	生駒断層帯地震	6,391	986
大阪狭山市	上町断層帯地震 B	4,890	500
阪南市	南海トラフ巨大地震	6,667	同左
島本町	有馬高槻断層帯地震	3,328	258
豊能町	有馬高槻断層帯地震	252	35
能勢町	有馬高槻断層帯地震	25	15
忠岡町	南海トラフ巨大地震	3,397	同左
熊取町	上町断層帯地震 B	3,245	310
田尻町	南海トラフ巨大地震	1,488	同左
岬町	南海トラフ巨大地震	3,456	同左
太子町	中央構造線断層帯地震	345	93
河南町	上町断層帯地震 B	453	188
千早赤阪村	中央構造線断層帯地震	180	77
計(大阪府分除く)		1,484,372	880,942

※南海トラフ巨大地震の避難所避難者数は、アクションプランの推進による減災効果を加味

※各直下型地震の避難所避難者数は、「大阪府域救援物資対策に係る調査」(平成 27 年 6 月)の結果